

20082

血管撮影予約システムの導入

¹新潟市民病院、²新潟市民病院

小野塚 直樹¹、五十嵐 直大²

【目的】当院には循環器用血管撮影室が2部屋ある。循環器カテーテル検査の予定調整は、循環器病棟と血管撮影室にあるホワイトボードを基軸として運用されている。検査の進捗、緊急検査によっては患者の順番・部屋の変更が頻繁に行われる。しかし、その変更が病棟に伝わっておらず、病棟と血管撮影室の予定表の不一致から患者間違い・部屋間違いが何度か見られた。患者安全のために、循環器用血管撮影室に血管撮影予約システム（東芝メディカルシステムズ Cardio Agent[®]）が導入されたため、その報告をする。【方法】システム導入前とシステム導入後で循環器カテーテル検査の運用方法を比較する。【結果】システムを導入し、web上で予定表を管理できるようにした。カスタマイズ性が高いため、予定調整が容易にでき、変更があった場合も病棟と血管撮影室で瞬時に情報共有ができるようになった。また、電子カルテからもシステムにログインできるため、電子カルテ端末さえあれば、検査の調整・確認ができるようになった。システムの患者オーダーは RIS オーダーと連携しているため、検査予定の患者の必要な情報（検査内容・穿刺部位・アレルギー等）を RIS オーダーを開かなくともシステム一画面ですべて得ることができる。【結論】システムの導入により、血管撮影室や病棟の検査関連スタッフ間の即時的な情報共有が可能となった。また、導入前のホワイトボードへの手書き運用と違い、webを用いた運用にすることで情報の正確性が向上した。今後も、さらなる利便性を求めてシステム改善を行う考えである。